

さあ
みんな

はじめまして、「伸ばせ！七尾っ子」プロジェクトです

つながろう かかわろう 七尾っ子 ～毎月7日は「伸ばせ！七尾っ子の日」～

「伸ばせ！七尾っ子プロジェクト」では、市内の保護者と教職員が集い、どうしたら子どもたちが健やかに育っていけるかということについて話し合ってきました。

その中で、子どもたちのために、大人も心をつなげて月にも一度くらい何かをしてはどうかということになり、七尾にちなんで毎月7日を「伸ばせ！七尾っ子の日」とし、取り組みを始めました。

第1回目の7月7日には「みんなであいさつの日」の取り組みを行い、たくさんの方々にご参加いただきました。

あいさつ運動は1年を通じて行いますが、これからは様々な取り組みを行っていきたくて考えています。七尾の子どもたちが健やかに育っているよう、たくさんの「大人」の皆さんのご協力とご参加をお願いします。



8月7日は「お手伝い・ボランティアの日」

夏休みのラジオ体操には「大人」もぜひ参加しましょう！

問「伸ばせ！七尾っ子」プロジェクト会議
(担当:教育委員会子ども教育課
☎53-8434)



（Aさんから）
どのメンバーも一生懸命精神疾患・障害と向き合い、社会に参加しようとする前向きな姿勢にとっても感動して、生きる力をもらっている。
市外の福祉施設を見学に行った時、利用者が施設内にある喫茶室の仕事やお菓子づくりを和気あいあいとしている姿を見てとても感動した。また、ボランティアで特別養護老人ホームへ行き、歯ブラシやぞうきんを使って車いすの掃除をした時、きれいにするとお年寄りが少しでも喜んで

VOL. 26

スマイルハートプラン〜人にやさしいまちづくり

今回は「ともしび会」に参加し、精神に障害があっても前向きに生きていくAさんからお話をうかがいました。

「Aさんは最後に「ともしび会」に参加することで日常生活の一つの糧にもなるし、社会勉強にもつながるので、まだ参加されていない方たちもぜひ参加してみてください！」と笑顔で話してくれました。

障害があることは決して特別なことではありません。たとえ障害があっても、してもらえばかりではなく、してあげられることもできる。障害があっても、なくても、みんなが支え合って生活していくことは、住み慣れた七尾のまちで自分らしく暮らしていくために必要であることをAさんから教わりました。

「ともしび会」

精神に障害を持った方が集まり、精神疾患・障害について相談をしたり、日常生活の支援や練習をしたりする精神科デイケアの一つ。能登中部保健福祉センター内で活動している。

※「スマイルハートプラン」とは、笑顔で支え合う、ともに生きる心を重視した「七尾市障害者計画」の通称名です。



しあわせの和を広げよう

「市民のねがい—七尾市民憲章—の普及に取り組む活動紹介」

憲章看板を リニューアル！

市民のねがい東湊実践委員会
(会長 長坂 勲さん)

旧七尾市民憲章時代から40年以上も活動を続けてい
る東湊地区の市民のねがい実践組織が、旧市民憲章の看板を再利用して、新しく「市民のねがい」が書かれた看板を製作した。

今回お色直しされたのは、縦6センチメートル、横90センチメートルの看板10枚で、東湊地区8町会・東湊小学校・東湊公民館の目につきやすい場所に飾られている。東湊地区の住民が多く集まる「いこいの一日」に合わせて、公民館前で除幕式が行われ、ピカピカに生まれ変わった看板の前で市民のねがいを一同で唱和。今後の地区住民への幅広い普及を誓い合った。

東湊実践委員会では、あいさつ運動・花植え・ゴミ拾いなどを地区全体へ広げる活動を行っている。市民のねがい推進委員会委員長、東湊地区実践委員会会長を務める長坂さんは「東湊では、ひとつの活動で終わるのではなく、まちづくりの様々な活動に参加する市民の和を広げていくのが特徴なんです」と話す。

一枚ずつ手づくりで作られた看板が大切にされ、しあわせの和が広がることを願いたい。



ふりそそげ!! きらめく笑顔 北信越の大空に!!

※大会スローガンは、土田聖奈さん
(高校1年、東部中学校出身)の作品

平成20年度全国中学校体育大会

第38回全国中学校相撲選手権大会

各都道府県予選を勝ち抜いた48校280名の精鋭が頂点をめざし、熱い戦いを繰り広げます。

期日 8月23日(土)~24日(日)

場所 七尾総合市民体育館 特設相撲場



23日(土)

9:00~ 開会式
10:30~ 個人予選1~3回戦
団体予選1回戦

24日(日)

8:20~ 団体予選2~3回戦
団体決勝トーナメント
個人戦決勝トーナメント
16:00~ 閉会式

問 第38回全国中学校相撲選手権大会
七尾市実行委員会(香島中学校内)
☎ 090-9444-8913